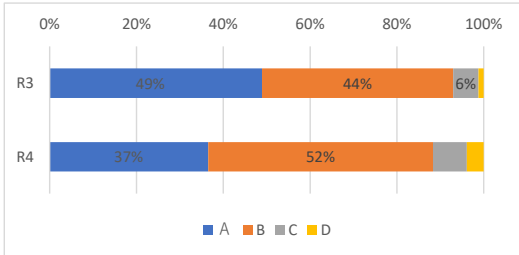


A：よくあてはまる（80%以上） B：だいたいあてはまる（50%以上80%未満） C：あまりあてはまらない（20%以上50%未満） D：まったくあてはまらない（20%未満）

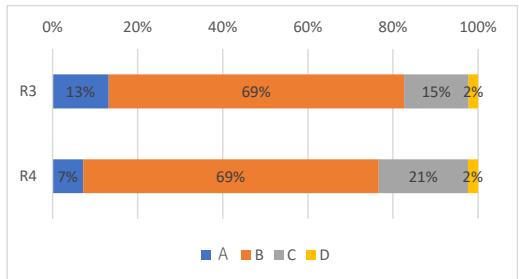
① <学校評価>子どもは、楽しく学校に行っている。



	A	B	C	D
R3	49%	44%	6%	1%
R4	37%	52%	8%	4%

肯定的回答が昨年度より4ポイント減少しました。生徒の活動や行事等は従来通りになりつつありますが、学校生活への満足度の向上への努力が必要です。生徒の情操面へのケアをして、自己肯定感、有用感を高める取組をすることが求められます。

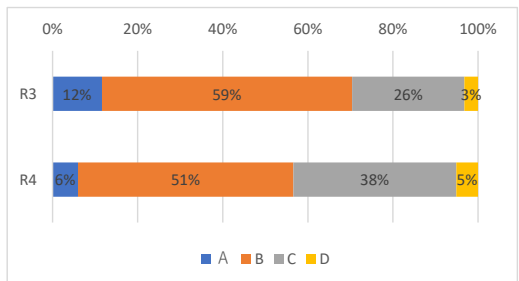
② <授業づくり>学校は、子どもの学力が身につくよう工夫し、わかりやすい授業を進めている。



	A	B	C	D
R3	13%	69%	15%	2%
R4	7%	69%	21%	2%

肯定的回答が昨年度より6ポイント減少しました。ICTの活用は充実してきましたが、学習内容の定着に対する取組の見直しが必要です。生徒との満足度に差がありますので、保護者も子どもの学力を実感できる授業改善が求められます。

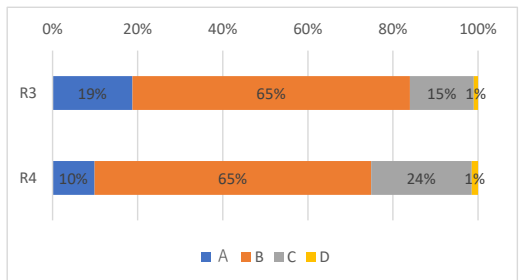
③ <学習習慣（家庭学習）>学校は、子どもに適切な宿題を出し、家庭学習の計画や方法をアドバイスしている。



	A	B	C	D
R3	12%	59%	26%	3%
R4	6%	51%	38%	5%

肯定的回答が昨年度より14ポイント減少しました。適切な課題の提示と家庭学習の方法やアドバイスの見直しが必要です。定期考査前の課題提示だけでなく、日々の家庭学習の在り方について、生徒・保護者とも共通理解を図ることが求められます。

④ <言語活動>学校は、いろいろな学習をととして、学習したことをまとめ、発表する場面を作っている。



	A	B	C	D
R3	19%	65%	15%	1%
R4	10%	65%	24%	1%

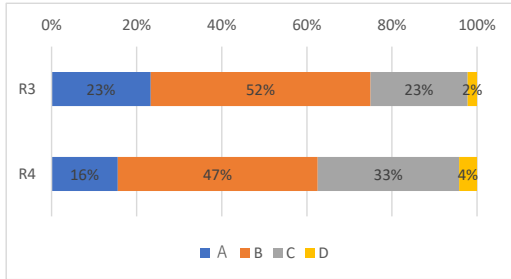
肯定的回答が昨年度より9ポイント減少しました。レポートや掲示物など、プレゼンテーション形式の学習内容の発表の場面が設けられず、参観する機会がなかったことが考えられます。今後は、発信・発表の機会を設定する取組や工夫が必要です。

令和 4 年度 学校評価アンケート 集計結果（保護者用）

（2学期末）

A：よくあてはまる（80%以上） B：だいたいあてはまる（50%以上80%未満） C：あまりあてはまらない（20%以上50%未満） D：まったくあてはまらない（20%未満）

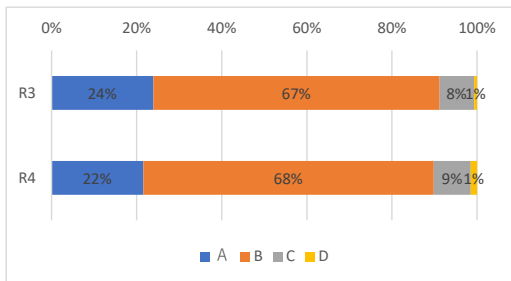
⑤ <読書活動>学校は、読書活動の時間などを設定し、子どもの読書習慣が身につくようにしている。



	A	B	C	D
R3	23%	52%	23%	2%
R4	16%	47%	33%	4%

肯定的回答が昨年度より12ポイント減少しました。朝読書の取組は見られるものの、図書館の利用や朝読書以外に書物に触れる機会が少ないと思われます。教員や図書委員からの発信、ピブリオバトルなど、読書の交流を図る機会の設定などの工夫が必要です。

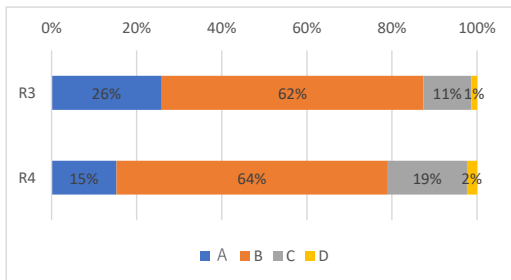
⑥ <人権教育>学校は道徳や人権学習などをおして、子どもの人権意識を高める取組をしている。



	A	B	C	D
R3	24%	67%	8%	1%
R4	22%	68%	9%	1%

肯定的回答が昨年度と同じような結果となりました。授業やゲストティーチャーによる講話など、各学年の積極的な取組が見られます。また生徒の意見交流も活発におこなわれ、互いを認め合う校風が高まっています。今後も内容の充実を図ることが大切です。

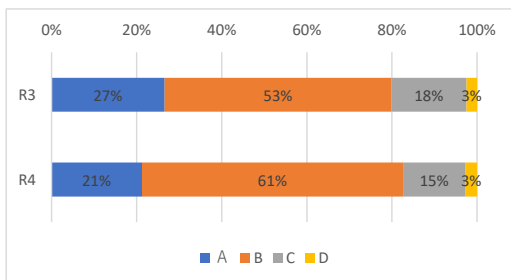
⑦ <学級活動>学校は、子ども一人ひとりの意見や思いが出しやすい雰囲気や機会づくりをしている。



	A	B	C	D
R3	26%	62%	11%	1%
R4	15%	64%	19%	2%

肯定的回答が昨年度より9ポイント減少しました。学習での意見交流とは違い、周囲への不安や自信のなさなどから、自分の思いや意見を発信しにくいところがあると思われます。仲間づくりの学級活動の充実を図り、相互理解と有用感を高める取組が求められます。

⑧ <学校行事>学校は体験的な活動を多く取り入れ、行事等では子どもが自主的に協力して、楽しく活動している。



	A	B	C	D
R3	27%	53%	18%	3%
R4	21%	61%	15%	3%

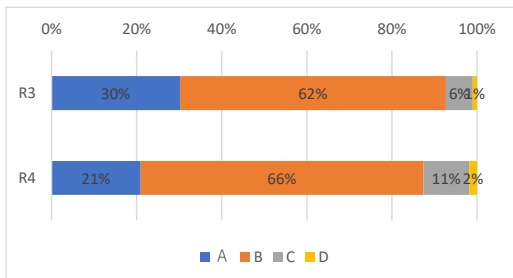
肯定的回答が昨年度と同じような結果となりました。生徒の活動や行事等が従来通りになりつつあり、保護者にお子さんの活躍する姿を参観していただいたことが要因と思われます。今後も、生徒の主体的、体験的な活動の充実を図ることが大切です。

令和 4 年度 学校評価アンケート 集計結果（保護者用）

（2学期末）

A：よくあてはまる（80%以上） B：だいたいあてはまる（50%以上80%未満） C：あまりあてはまらない（20%以上50%未満） D：まったくあてはまらない（20%未満）

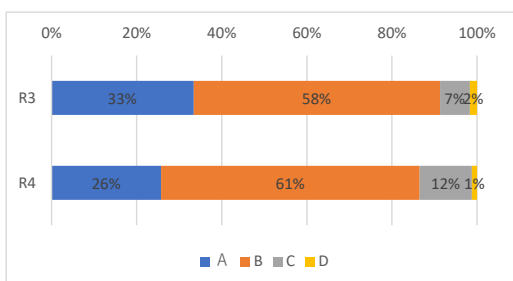
⑨ <基礎体力>学校は、体育の授業や部活動などで、基礎体力が身につくよう工夫した指導をしている。



	A	B	C	D
R3	30%	62%	6%	1%
R4	21%	66%	11%	2%

肯定的回答が昨年度より9ポイント減少しました。学習や行事等は従来通りになりつつありますが、部活動の取組についての制限や規模の縮小の影響があるかと思われます。今後は、効果的な活動の工夫をして、活動の充実を図ることが求められます。

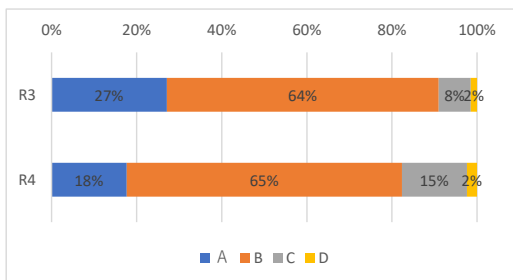
⑩ <生徒支援（教育相談）>先生は、子どもや保護者の思いに耳を傾け、悩み事があれば相談に乗ってくれる。



	A	B	C	D
R3	33%	58%	7%	2%
R4	26%	61%	12%	1%

肯定的回答が昨年度より4ポイント減少しました。コロナ禍の影響を鑑み、生徒や保護者への寄り添いや受容する体制の強化が求められます。生徒だけでなく、保護者への相談活動の充実を図り、より温かい連帯感を築いていくことが大切です。

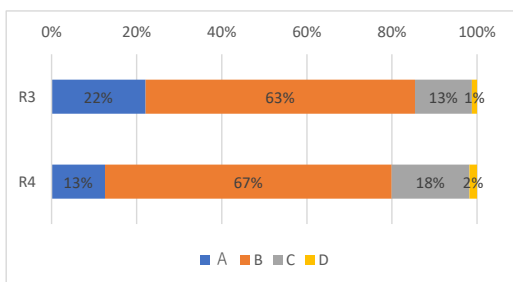
⑪ <生活指導>学校は、子どもの状況を理解して、保護者と協力しながら適切な生活指導をしている。



	A	B	C	D
R3	27%	64%	8%	2%
R4	18%	65%	15%	2%

肯定的回答が昨年度より8ポイント減少しました。生徒や保護者の状況を理解するために、保護者との連絡や相談など、普段の連絡の充実を図り、よりよい関係を築いていくことが大切です。また関係機関とも連携して、より手厚く支援していくことも必要です。

⑫ <社会規範>学校は、子どもが進んであいさつをし、ルールを守るなどの意識を高める取組をしている。



	A	B	C	D
R3	22%	63%	13%	1%
R4	13%	67%	18%	2%

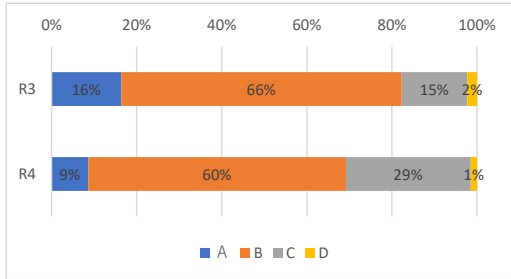
肯定的回答が昨年度より5ポイント減少しました。細かな指導はあるものの、多くの生徒が規範意識をもって学校生活を送っています。一方で、挨拶などのコミュニケーションに課題があります。生徒会のあいさつ運動など、引き続き意識した取組が必要です。

令和 4 年度 学校評価アンケート 集計結果（保護者用）

（2 学期末）

A：よくあてはまる（80%以上） B：だいたいあてはまる（50%以上80%未満） C：あまりあてはまらない（20%以上50%未満） D：まったくあてはまらない（20%未満）

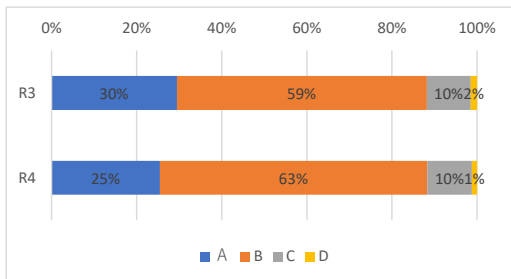
⑬ <地域連携>保護者や地域は、学校と連携しながら教育に取り組んでいる。



	A	B	C	D
R3	16%	66%	15%	2%
R4	9%	60%	29%	1%

肯定的回答が昨年度より13ポイント減少しました。コロナ禍の影響で、PTAや地域行事の中止や規模の縮小など、保護者や地域の方が来校される機会が減ったことが要因です。来年度のコミュニティスクール・地域学校協働活動で連携を深めることが大切です。

⑭ <情報発信>学校は、通信やホームページ等で、学校や子どもの様子を伝えている。



	A	B	C	D
R3	30%	59%	10%	2%
R4	25%	63%	10%	1%

肯定的回答が昨年度と同じような結果となりました。今年度、学校が意識して取り組んだ成果が出ています。来年度もHPや学校だより、メール配信等で情報を提供して、学校と家庭との連携を密にしていきたいにも引き続き努力が必要です。

今年度は、どの項目においても肯定的回答のポイントが下がりました。この結果を真摯に受けとめ、よりよい学校運営に努めていきたいと思ひます。

また、今年度アンケート方法を変更しました。アンケート用紙を配布し回収する方法から、ICTを活用したアンケートにしたことで回収率が8.1%大幅に減少しました。落ち着いた学校状態の中で回収率が下がる傾向は多くの学校で見られることで、そのことが今回の結果とどう関係しているかも分析していきたいと思ひます。

今年度、2回の学校公開週間を設定し、保護者・地域の方に学校に足を運んでいただく機会を持ちましたが、期間を通じて2回とも100人程度の来校と、公開の目的を十分に達成できたとは言えません。来年度もこのような機会を設けますので、ぜひとも「野洲北中学校の姿」をご覧ください。

また、学校評価アンケートの自由記述のご意見やご指摘をいただきました。これらの記述については、2月度の職員会議にて報告し、教職員全体で共通理解を図るとともに、真摯に受け止めて改善するように伝達しました。様々な教育活動をコロナ禍以前の形へ移行する過渡期にあつて、いただいたご意見・ご指摘をもとに学校行事だけでなく、今後の学習指導や授業の改善、生徒の関わりや支援、部活動等について再度熟考し、よりよい学校運営に大いに役立てていきたいと考えております。「環境は人を創る 環境は人が創る」の合言葉のもと、『「自主協同」夢の実現をめざす』学校教育目標達成に向けて、教職員一同、全力を挙げて教育活動に取り組んでいきます。今後ともご理解・ご協力のほど、よろしくお願ひします。